学校番号	1201

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	４単位 (系列・自由合わせて選択)	年次	３年次
使用教科書	最新　数学Ⅱ　（数研出版）						
副教材等	３ROUND　数学Ⅱ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 授業では、「授業の内容を理解する→問題を解く→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える（特に間違った箇所）」といった一連の過程で、数学の内容を理解していってください。
- 問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
- 授業以外における課題は、定期的に提出してもらいます。答えを写すのではなく最後まであきらめずに自分で解けるように取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・数の範囲や式の性質に着目し、論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身につけている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	式と計算・複素数と方程式	式の展開と因数分解 二項定理 分数式の計算 複素数 2次方程式の解と判別式 解と係数の関係 多項式のわり算 因数定理 高次方程式	a: 分数式の四則演算ができる。 高次方程式を解くことができる。 b: 解と係数の関係を使って、2数を解とする 2 次方程式を求めることができる。 c: 解と係数の関係を使って、2数を解とする 2 次方程式を求めようとすることができる。	確認テスト 定期考査	課題 発表 定期考査	課題 発表

	図形と方程式	直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の関係 円の方程式 円と直線 軌跡 不等式と領域	a：与えられた条件を満たす直線の方程式を求めることができる。 円と直線の共有点の座標の個数を求めることができる。 b：2 直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めることができる。 c：円と直線の共有点の座標の個数を求めようとすることができる。	確認テスト 定期考査	課題 発表 定期考査	課題 発表
2学期	三角関数	三角比 一般角 三角関数の相互関係 三角関数の性質 三角関数のグラフ 三角関数の応用 加法定理 いろいろな公式 弧度法	a: 三角関数を含む関数の最大値・最小値を求められる。 b: 加法定理から２倍角、さらに半角の公式を導くことができる。 c: 加法定理の成り立ちを理解し、様々な角度の三角関数の値を求めようとすることができる。	確認テスト 定期考査	課題 発表 定期考査	課題 発表
	指数関数と対数関数	指数法則 累乗根 指数の拡張 指数関数とそのグラフ 対数とその性質 対数関数とそのグラフ 常用対数	a: 指数法則が成り立つように，整数や有理数の指数を定義していることが理解できる。 b: 対数と指数の関係から、指数法則と対数の性質に密接な関係があることが理解できる。また、底を自由に変換できる。 c: 常用対数を用いて、大きい数の桁数を求めようとすることができる。	確認テスト 定期考査	課題 発表 定期考査	課題 発表
3学期	微分と積分	微分係数 導関数 接線 関数の増減と極大･極小 関数の最大･最小 方程式･不等式への応用 不定積分 定積分 面積	a:微分や積分の計算ができる。 b: 導関数を利用して，関数の最大値･最小値を求めることができる。 c: 面積を求める際には，グラフの上下関係，積分範囲などを図で表し、考察しようとしている。	確認テスト 定期考査	課題 発表 定期考査	課題 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度